静岡県静岡市

ティーバッグ、スティックバッグの充填専業、 幅広い分野、海外用製品へ受注を拡大

1975年設立。緑茶、抹茶、紅茶、コーヒー等のティーバッグ、粉末用スティックバッグ等を受託加工し、大手メーカーにOEM供給。海外向けが売上の2割を占め、ベトナムの駐在事務所を拠点にアジアへの販路拡大に取組む。HACCP認証、有機JAS認証、SQF等の国際認証も積極的に取得している。他、新規事業としてハーブ栽培や化粧品製造を開始する等、静岡県の成長産業として期待される分野でも需要拡大を目指している。

●所在地	静岡県静岡市駿河区中原713
●電話/FAX	054-281-9092/054-287-4556
•URL	http://shizu-pack.com/
●代表者	代表取締役 佐野 哲一

●設立	1975年
●資本金	5,000万円
●従業員数	70人



高い充填技術で、食品から化粧品等、幅広い分野に需要を拡大

1987年に世界初の三角錐ピラミッド型ティーバッグの製造を開始、その後も形状や材質の工夫を続けている。2000年代初めには、スティック包装への抹茶の窒素入り充填の製造を、国内他社に先駆けて開始した。これにより抹茶の賞味期限が1年に延び、輸出しやすい商品となった。また、青汁スティックバッグの充填技術は、食品分野に止まらず化粧品の試供品や入浴剤等、多様な商品に応用でき、幅広い分野で需要を獲得している。



製造ラインIoT化研究による生産性向上

地域資源の活用、化粧品事業参入による地域経済活性化

静岡県が生産量日本一を誇る茶葉を独自技術で充填し、輸出を拡大することで県内茶業の発展への貢献が期待される。新規事業として参入した化粧品事業も、静岡県の化粧品生産金額は全国3位(2017年)で成長産業として期待されている。県が推進する「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト」において、他企業と協力して製品を開発する「食品等開発研究会」等に参加しており、新たな連携による売上の増加も期待される。



静岡銘菓「8の字」ブランドの継承

安全・安心を追求、認証を積極的に取得し、厳しく品質管理

食の安全・安心と、品質に強いこだわりがある。静岡県のミニHACCP認証、有機JAS認証、GFSI(世界食品安全イニシアチブ)のSQF(Safe Quality Food)認証等を取得して、国際基準に準じた厳しい品質管理を行っている。2019年のSQF監査では最高位のエクセレントを取得した。アメリカへの輸出に必要なコーシャ認証(ユダヤ教の教義に順じた衛生管理)も取得し、ハラル認証対応商品も製造可能である。同社の製品品質は国際的にも定評があり、競争力を有している。



認証の基準で製造したOEM製品